

## 江古田三丁目障害者グループホーム等説明会記録

日時 令和5年7月19日（水） 10時30分から11時40分まで

会場 中野区役所7階第8会議室

実施方法 会場及び ZOOM による開催を併用

参加者：（会場）25名、（ZOOM）17名 計42名

事業者：日本リック株式会社福祉介護事業本部部長他2名

区：障害福祉サービス担当課長、障害者施設係職員4名

### 1 内容

#### （1）区より挨拶及び運営事業者の紹介

##### 【区】

本事業については平成28年度から公募を行い4回不調になっている。これまでは事業者が補助金を活用して建てるという方針であったが、昨年度に方針を変更して、施設整備前に運営事業者を選定し、設計の段階から運営事業者や当事者の意見を取り込みながら区が整備を行うこととした。令和5年1月に公募、4月に審査、5月末に事業者を選定した。今後事業者を含めて話し合い、より良い関係性を築いていきたいと思う。

選定事業者は日本リック株式会社に決定した。都内に福祉介護事業の本部があり、訪問介護や障害者の居宅介護、移動支援、通所介護等を行っている株式会社である。中野区に4つの事業所があり、障害福祉サービス、居宅介護、障害者（児）の相談支援事業を行っている、りんく中野、りんく野方など地域密着の事業展開を行っている事業者である。

##### 【事業者】

今日1日で不安や質問に答えられると思わないが、なるべく期待に応えられるよう不安を取り除けるようがんばりたい、一緒にグループホームを作っていきたいというのが本心である。

初めての場で緊張しているが、ありのままをお伝えしたいと思っている。

#### （2）施設概要及び今後のスケジュールについて

##### 【区】

中野区江古田三丁目（旧療育センターアポロ園の跡地）が整備用地になる。障害福祉計画の第4期から6期に基づき、昨年度12月に基本方針の策定を行った。この基本方針を基に構成する部屋数や機能を定める基本計画がある。先月当事者家族団体代表の方々に基本計画に関するご意見を伺った。

参加されていない方もいるので、同じ資料を用意した。

意見があれば今月中に、障害者施設係まで連絡してほしい。

令和9年度中の開設予定だが、その間、基本設計、実施設計の際に、都度ご意見を伺い、事業者も加わり、みなさんの生の声を聴く機会を設け、よいものを作っていきたい。スケジュールについて、令和5年度施設の基本計画策定開始、令和6～7年度基本設計・実施設計を行う。令和7年度から8年度に施設建設、令和9年度中に開設となっている。議会の報告では一番長くて令和9年度中となっているが、詰められるものは詰めていく努力をしたいと思っている。ただ資材が入りにくい状況など不確定要素がある。

### (3) 質疑応答

#### 【参加者】

スケジュールに時間がかかりすぎている。役所仕事すぎる。いかに工夫してやるかが大事である。

以前のパンフレットをみたら、建設期間1年。何年もかけてやることではない。もっと早くしてほしい。

3ユニットから2ユニットに減っている。身体、知的で6人ずつになるのか、この内容をもっと知りたい。

重度の人の受け皿を作ってほしい、本当に困っているのは重度の人であることを理解してほしい。

#### 【区】

当初3ユニットであったが、3ユニットや24時間看護師配置が可能な事業者がなく応募要件を変更している。知的と身体で1ユニットずつと考えており、入所者については本人や家族の状況等を考慮しながら事業者と区のケースワーカーと十分協議のうえ決めたい。

江古田三丁目だけでは足りていないことは重々承知している。今回で終わりではなく、引き続き検討していく。

【参加者】知的障害で重度の娘がいる。6人しか入れないということは、なかなか回ってこないと思う。それを踏まえて聞くが、男女比はどうなっているのか。重度であれば、夜のトイレの介助が必要になると思う。同性介助が基本だと思うが、対応できるのか、それとも全員同性にするのか聞きたい。

#### 【事業者】

同性介助が理想でもあるし、同性のほうが安心感がある。全てにおいて対応するのは難しいが、配慮して行いたい。男女どちらも入れるよう検討していきたい。

#### 【参加者】

福祉の人材が集まらない状況で、人材が集まるのか。

【事業者】

当社は都内に18の事業所があり、登録ヘルパーは約250名、常勤職員は約100名おり、施設での経験者もいる。社内で従事希望者を公募して対応しようと思っている。また紹介会社を利用して積極的に採用につなげたいと思っている。

【区】

中野区の知的、身体の重度心身障害者の男女比についても考慮しなければならないと思うが、ただ検討していくなかで、比率にあった形ではなくなるかと思う。実際には男性が多い傾向がある。

【参加者】

男女比もあるが、知的に関していうと障害の特性があるが、いろんな特性の人をいれるのか、自閉の人に特化するのか。

【事業者】

現時点では男女比、障害特性など決まっていない。今すぐ必要な人かどうかなので、現時点では何も決まってない。

【参加者】

優先順位の高い方からというのが方針か。

【事業者】

運営事業者として決定してから、計画と平行していろんな施設を見学している。現段階で優先順位というのは不確定なものである。

【参加者】

決めるのは事業者か。

【事業者】

区と協議して決める。

【参加者】

12人しか入れない。入れる基準は何か。皆入りたい。どういう基準でどういう順番で選んでいくのか、皆考えることは一緒である。事業者の好みで不透明な基準で選んでいくのかわからないが、親にとっての一番の関心であり、問題である。

【事業者】

我々にとってもそこが一番難しい、できればみなさんの要望に全て応えたいが、それができないのが苦しい。今のところ基準を答えることができない。

【区】

選定を誰がやるのかという点については先ほどお話ししたが、障害区分だけの話だけではなく、特性、家庭環境、緊急性等も考慮する形になる。基準を決めるべきなのは理解しているが、現段階では検討していない。基本計画後の基本設

計でもう少し基準となることを決めていかなければならないと感じている。

【参加者】

グループホームに入れなければ短期入所があるが、そこが利用できるのか。医療に関して3号研修を受ければ、介護職員も対応可能だが、どのように考えているのか。

【事業者】

どこまで対応できるかは看護師と嘱託医とも相談して、もう少し計画を進めていかないとわからない。

【参加者】

介護者の3号研修を活用していただきたい。  
確認であるが共用スペースのエレベーター9人以上とあるが、ストレッチャーや車椅子も入れるか。

【区】

ストレッチャーも入れるよう想定している。

【事業者】

重度の訪問介護を行っているので、りんくの中野、りんく野方で3号研修を受けている。今は2日間の研修なので、施設に入るため3号研修はみんな受けて従事したいと考えている。

【参加者】

安心した。

【参加者】

短期入所について伺いたい。  
送迎は受けられるのか。送迎がないと使いにくい。その辺はどう考えるか。

【事業者】

送迎については、まだ結論が出ていない。

【参加者】

区に伺いたい。巡回バスなどで利用できるのか。

【区】

現段階では難しい。そこまで検討していない。  
ルートを組む上で難しい。ご意見として承る。

【参加者】

やよい荘、やまと荘がなくなった時にも送迎が必要という意見は多かったはず。江古田三丁目にかかわらず、送迎サービスをつけてもらいたい。送迎をしてこそ重度も使いやすいサービスになると思うがいかがか。

【区】

実際に短期入所で利用するという時に、人の手配の問題が出てくる、短期入所

の送迎は江古田三丁目だけでなく、全体的に考えていけないといけない。

【参加者】

短期入所の送迎は全体的に考えていけないといけない。非常に行きにくいところにある。考えてほしい。

【参加者】 事業者に2つ質問がある。人材派遣会社であるが、なぜ中野区の重度障害者のグループホーム運営に手を挙げたのか。また、スケジュールに関して施設整備のことは書いてあるが、保護者に対する説明会と人のスケジュールを教えてください。区に対しては1つ質問がある。なぜこの事業者に決めたのか。金額が安いという理由ではないはず。

【区】

整備方針を転換して、今回選定された事業者が公募の参加表明をしてくれた。審査において、グループホームの実績がない点についてどうフォローしていくのか質問した。その点については事業者から説明をする。事業者については、株式会社や、社会福祉法人を問わない。金額ではない。また、区は事業者に運営を丸投げするのではなく、きちんと把握し、継続して関わっていく。

【事業者】

グループホームの実績はないが、在宅介護を20年続けてきた強みがある。グループホームは在宅のスキルを生かせるところである。開設までにスキルを磨いて、対応していきたい。説明会の頻度については、まだ正確には答えられないが、必要に応じて開催していく。

手を挙げた理由は、地域に必要とされるためで、利益のためではない。当社は黒字できており、グループホームで利益を得ようと思っていない。地域に貢献したいと思い、手を挙げた。

【参加者】

保護者が待望しているグループホームである。数がたくさんあればいい。事業者には、これを成功させ、また次のグループホームも運営してほしい。

【参加者】

グループホームは入所施設と違うと思う。入所施設についても総合的に進めてほしい。グループホーム整備の年数がかかりすぎる。気が遠くなる。

【参加者】

国の施策としては脱入所施設の動きがある。区内には江古田の森があり、これ以上入所施設を区内には作れない。グループホームのなかで生活していこうという流れがあるので、これで終わらず、次にもグループホームを中野区に作ってもらうようお願いしましょう。

【区】

施設を作るのは区だけでは対応しきれない部分がある。区が対応できない部分に関しては、国や都がバックアップしていくべきだと考える。障害者のほか障害児の問題もあり、難しさを痛感しながら進めている。中野区として障害者の支援をトータル的に考えて進めていきたいと思っている。